

辞書アプリの年別ダウンロード実績推移

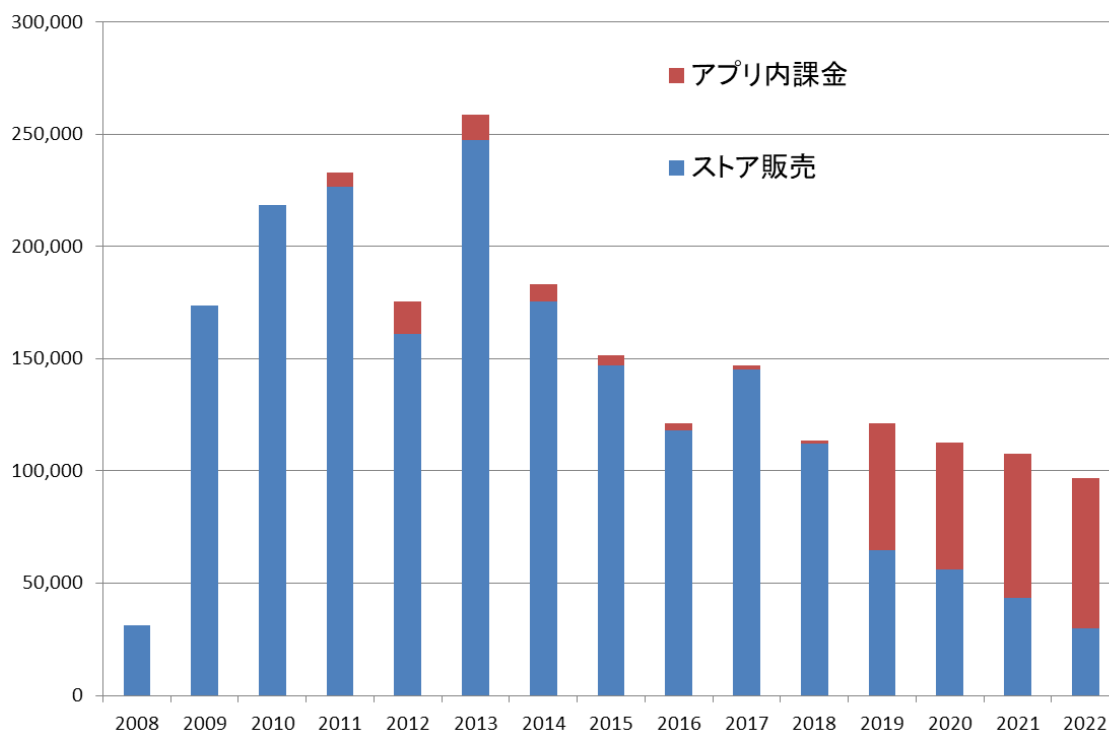
2023年10月27日

一般社団法人 日本電子出版協会 (JEPA)

レファレンス委員会

年度	ストア販売	アプリ内課金	備考
2008	31,136		ソフトバンク、iPhone 3G を販売 (7月)
2009	173,507		HT-03A(Android スマホ) 国内発売 (7月)
2010	218,340		iPad 国内発売 (5月)
2011	226,410	6,371	au/KDDI が iPhone の取り扱いを開始 (10月)
2012	161,089	14,366	au スマートパス開始 (3月)
2013	247,267	11,400	NTT ドコモが iPhone の取り扱いを開始 (9月)
2014	175,625	7,746	
2015	146,952	4,399	
2016	118,186	2,998	
2017	145,317	1,532	
2018	112,387	1,327	
2019	64,610	56,746	Apple のルール変更によりアプリ内課金による販売が拡大 *1
2020	56,057	56,424	コロナの影響により「GIGA スクール構想」が前倒しで実施
2021	43,471	63,986	この頃よりアプリ配信停止やサブスク移行が続き、従来の販売モデルは縮小傾向に。
2022	30,095	66,707	

*1 2017年12月、単独辞書アプリを多数販売するデベロッパーに対し、各辞典コンテンツをアプリ内課金で購入するコンテナアプリに改編するよう、Apple が要請。2018年10月から2019年12年にかけて、主要各社が順次対応しました。



1. 当該年度の1～12月度を集計単位とし、“オンラインストアでの有料辞書アプリ販売数”および“アプリ内課金による追加辞書データ販売数”を集計しました。

* 無料アプリ、およびCD-ROM等によるパッケージ販売の実数は含みません。

辞書アプリの年別ダウンロード実績推移

* 主に学校市場をターゲットとしたライセンス販売の実績は本調査に含みません。

* サブスクリプションモデルの数値は含めていません。次年度以降の調査で公開できるよう検討中です。

2. 本調査は、主にスマートホンユーザーをターゲットとした“辞書アプリ”について、その販売数(ダウンロード数)の推移を視覚化することを目的としています。2018年の初回調査でiPhoneが登場した2008年にさかのぼって調査を実施し、以降、毎年調査結果を公開しています。

3. 調査にあたり、下記の企業にご協力頂きました。

2018年度調査(2017年以前実績) イースト(株)、HMDT(株)、(株)計測技研、(株)小学館、ビッグローブ(株)、(株)富士通パーソナルズ、(株)VOYAGE GROUP、(株)物書堂、ロゴヴィスタ(株)(五十音順、敬称略)

2019年度調査(2018年実績) イースト(株)、HMDT(株)、(株)計測技研、(株)三省堂、(株)C-POT、(株)小学館、(株)ナウプロダクション、ビッグローブ(株)、(株)富士通パーソナルズ、(株)VOYAGE GROUP、(株)物書堂、ロゴヴィスタ(株)(同上)

2020年度調査(2019年実績) イースト(株)、HMDT(株)、(株)三省堂、(株)TFモバイルソリューションズ、(株)ナウプロダクション、ビッグローブ(株)、(株)VOYAGE MARKETING、(株)物書堂、ロゴヴィスタ(株)(同上)

2021年度調査(2020年実績) イースト(株)、HMDT(株)、(株)ティーガイア、(株)ナウプロダクション、ビッグローブ(株)、(株)物書堂、ロゴヴィスタ(株)(同上)

2022年度調査(2021年実績) イースト(株)、HMDT(株)、(株)コードダイナミクス、(株)ナウプロダクション、ビッグローブ(株)、(株)物書堂、ロゴヴィスタ(株)(同上)

2023年度調査(2022年実績) (株)コードダイナミクス、(株)物書堂、ロゴヴィスタ(株)(同上)

4. 本調査についてのお問い合わせは JEP A 事務局までお願いいたします。

info@jepa.or.jp または <https://www.jepa.or.jp/contact>

以上